



# MGC で指定されるローカル アドレスとポート

MGC (メディア ゲートウェイ コントローラ) は、特定のローカル アドレスとポートの一方または両方におけるフローのプログラミングを、**choose** ワイルドカードではなく、H.248 プロトコルの **add** および **modify** 要求を使用して行うことができます。これらの値の一方が未設定の場合は、DBE が管理するアドレス範囲の 1 つに基づいて、DBE がアドレスまたはポートを指定します。

## MGC で指定されるローカル アドレスおよびポートの機能履歴

リリース	変更内容
リリース 3.5.0	このコマンドは Cisco CRS-1 に初めて追加されました。

## 内容

このモジュールの構成は次のとおりです。

- [「MGC で指定されるローカル アドレスおよびポートに関する制約事項」 \(P.SBC-445\)](#)
- [「MGC で指定されるローカル アドレスおよびポートに関する情報」 \(P.SBC-446\)](#)
- [「その他の関連資料」 \(P.SBC-446\)](#)

## MGC で指定されるローカル アドレスおよびポートに関する制約事項

次の状況下では、DBE によるコールセットアップが失敗します。

- 要求されたアドレスおよびポートは、そのフローに適したサービス クラスを指定して DBE 上で設定された範囲に属していない。結果として、Megaco error 421 - Unknown action or illegal combination of actions というエラーが発生します。
- 奇数のポート番号を指定してメディア ポートが要求された。結果として、Megaco error 500 - Internal software failure というエラーが発生します。
- 既存フローのローカル アドレスおよびポートを交換する要求である。結果として、Megaco error 501 - Not Implemented というエラーが発生します。
- 要求されたアドレスとポートの一方または両方が、すでに別のフローで使用されているか、最近削除されたフローで使用されていた。結果として、Megaco error 510 - Insufficient Resources というエラーが発生します。



## 関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
Cisco IOS XR マスター コマンド リファレンス	『Cisco IOS XR Master Commands List』
Cisco IOS XR SBC インターフェイス コンフィギュレーション コマンド	『Cisco IOS XR Session Border Controller Command Reference』
Cisco IOS XR ソフトウェアを使用するルータを初回に起動し設定するための情報	『Cisco IOS XR Getting Started Guide』
Cisco IOS XR コマンド モード	『Cisco IOS XR Command Mode Reference』

## 標準

標準	タイトル
H.248	『Media Gateway Control (Megaco) Protocol Standard』
ETSI TS 102 333	—

## MIB

MIB	MIB のリンク
—	<p>Cisco IOS XR ソフトウェアを使用して MIB の場所を特定してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用して、[Cisco Access Products] メニューからプラットフォームを選択します。</p> <p><a href="http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml">http://cisco.com/public/sw-center/netmgmt/cmtk/mibs.shtml</a></p>

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのテクニカル サポート Web サイトでは、製品、テクノロジー、ソリューション、技術的なヒント、およびツールへのリンクなどの、数千ページに及ぶ技術情報が検索可能です。Cisco.com に登録済みのユーザは、このページから詳細情報にアクセスできます。	<a href="http://www.cisco.com/en/US/support/index.html">http://www.cisco.com/en/US/support/index.html</a>

